

やまがた木育プログラム体験会

ブナのしずくストラップ

オープンングイベント

山形県源流の森



作成日
2025年5月19日
やまがた森林と緑の
推進機構 緑化推進課

ひとこと

源流の森のオープンングイベントということで、他に出展された方々とも交流し、興味を持って頂けました。ブナ林については山形が最も広い面積を持つ県であること、その森林としての公益性、食器に適した木材としての特性、しずく状の木目の美しさなど覚えてもらい、親しみを持って頂いたようで何よりです。
(担当Y)

15名の方に
参加いただきました！



5月11日(日)、山形県源流の森(飯豊町)のオープンングイベントにおいて、やまがた木育プログラム体験会「ブナのしずくストラップ」を行いました。

今回は講師として、やまがた木育人材養成講座「スキルアップ修了者」から明日美幸さん、小山田智裕さん、高橋司さんにお越しいただきました。講師の役割としてイベントの司会・進行を高橋さん、木育講話を小山田さん、木工説明を明日さんにお願ひし開催となりました。

始まる前に、明日さんから、今回使用する紙やすりは粗く削りやすい分、指を擦って怪我をしやすいという指摘を受けて、より気を付けて指導に当たりました。

木育講話については紙芝居形式で行い、クイズにより山形県のブナ林の広さや名前の由来を伝えたり、重さや木目の模様を直接体感したりして頂きました。

続けて、明日さんが木工の説明を行いました。ストラップづくりに向けた、大きな模型を使って説明し、どうすれば削りやすいか、紐とビーズのつけ方はどうすればいいかをわかりやすく伝えられていました。

スタッフが気を付けて指導に当たった甲斐あって、参加された皆さんは無事、ストラップをきれいに作り上げることができました。カバンにつけたいという声も上がり、ブナに親しみを持ってくただけたようでした。

【参加された方の感想】

- ・ブナのストラップをじょうずに作れてうれしかったです。ブナをわかってうれしかったです。
- ・木を削るのがひさしぶりでした。山形県のブナの量が多いことを知れました。

【スタッフの振り返り・感想】

- ・要点をまとめ、相手に合わせて伝える姿勢が重要。
- ・話の中でブナと山形のつながりをよく分かるように強調する工夫がいたると思う。
- ・より楽しんで覚えられるように講話で話す内容にクイズラリー形式を取り入れたい。
- ・時間が少々長いので短い時間でも参加できるように工夫をしたい。

県民みんなが
支える森づくり



やまがた緑環境税

